

2018年8月8日

愛知県知事 大村秀章 様

革新県政の会
(くらし・教育・平和をまもる
清潔な革新県政をつくる会)

代 表 樽松佐一

県内の学校への早急なエアコン設置や危険なブロック塀撤去など、子どもの命を守る緊急な対策を求めます

県民の命を危険にさらす厳しい猛暑が続く中、7月17日に豊田市の小学1年生の男子児童が熱中症で死亡するという痛ましい事故がありました。豊田市の小中学校では、エアコンが未設置でした。文部科学省の調べ(2017年4月1日)によると、公立小中学校の普通教室のエアコン設置率は全国は49.6%で、愛知県は35.7%と全国平均に遠く及びません。

また、6月に起きた大阪府北部地震では、登校中の児童が倒れたブロック塀の下敷きになって死亡する事故が起きました。愛知県教育委員会は7月13日、県内の県・市町村立の幼稚園、小中学校、高校、特別支援学校のうち305校でブロック塀の安全性に問題があったと、調査結果を発表しました。

こうした深刻な実態は、愛知県は全国2位の財政力がありながら、47都道府県の比較で児童・生徒1人あたりの教育費が小学校44位、中学校47位、高等学校47位と、全国最低レベルであることに大きな原因があると言わざるを得ません。

よって、子どもたち、県民の命と安全を守る緊急対策として、下記の事項を実施されるよう最大の努力を求めます。

記

1. 公立学校の普通教室エアコンは、すべての県立学校に、県の責任で直ちに設置すること。特別支援学校のエアコン設置計画は前倒しすること。市町村立の小中学校についても、エアコン設置の計画を大幅に前倒しして実施できるよう、県独自の補助を出すなどリーダーシップを発揮すること。また、エアコンが確実に稼働できるよう、電気料金など経費を補填すること。
2. 児童生徒の野外活動や部活動など炎天下での屋外行動については、水分の補強や適度の休憩、猛暑時の屋外活動の規制など、これまでの指導を抜本的に見直し、健康第一の立場で対処すること。
3. 県内のすべての県・市町村立学校において、ブロック塀、バックネットの支柱、吊り天井や照明など倒壊や落下の危険がある場所を早急に補修するために、必要な予算をつけるなどの緊急対策を行うこと。
4. 公的施設の危険なブロック塀の緊急補修はもちろんのこと、観光地や住宅密集地など民間施設のブロック塀を総点検し、所有者などに結果を伝えて速やかな対応を促すこと。

以 上